

令和2年度 事業計画

障害者支援施設
障害者支援施設
障がい福祉サービス

北海道博愛舎
ニュー北海道博愛舎
グループホーム紅愛

令和2年度 事業計画

《社会福祉法人・障害者福祉制度を取り巻く情勢》

1 社会福祉法人を取り巻く情勢の変化

(2019年12月10日厚労省内検討会資料より)

平成28年の社会福祉法の改正で、社会福祉法人の公益性・非営利を確保する観点から、経営組織のガバナンス（統制）の強化や事業運営の透明性の向上等の制度の見直しが行われ、地域社会に貢献する法人の在り方がさらに求められた。

- (1) 住民に身近な圏域で様々な地域づくりの活動に参画し、福祉分野での専門性を生かし、地域住民の抱える様々な地域生活課題への対応を進められるようにするため、円滑に連携・協働しやすい環境整備を図っていく必要がある。

＜北海道博愛舎の取り組み＞

- 地域ささえあい連絡会議「紅葉山地区」（社協主催）出席
- 地域で実施されるイベント等の活動を支援
- 地域の消防団に加入している職員の活動を支援
- 日本赤十字社献血活動の場所の提供と職員の献血協力を継続して実施
- 地域住民に対して施設内が災害時の避難場所となることを周知

- (2) 社会福祉法人間の連携による地域貢献の取り組みを推進することが重要である。

＜北海道博愛舎の取り組み＞

- 他法人と協力して地域住民が集う「お祭り」の共同実施

2 障害者福祉制度

障害者雇用義務の対象（平成22年）として、これまでの身体障害者、知的障害者に精神障害者が平成30年4月から加わった。

この制度の目標は「障害者が地域の一員として共に暮らし、共に働く」ことを当たり前にすること。

【現行の法定雇用率】

事業主区分	法定雇用率
民間企業	2.2%
国、地方公共団体等	2.5%
都道府県等の教育委員会	2.4%

※障害者雇用義務の民間企業の範囲は、従業員45.5人以上

※雇用率を達成しないと1人につき月5万円の雇用納付金が徴収される。

※北海道博愛舎は、2.6%でクリアしている。

《令和2年度 基本方針及び運営の目標》

1 基本方針

【法人】

- 1 社会福祉法人の適正な運営のため、理事会・評議員会を定期に開催し協議を行うとともに、障がい福祉の充実を図るため相互に研鑽を行う。

【施設】

- 2 施設の安定した運営を図るため、グループホーム及び通所を含めた利用者の確保に努めるとともに、利用者が安全・安心な生活を送れるよう、職員個々の支援の技術をより向上させるため研修等に積極的に参加する。

【作業】

- 3 効率的な業務運営と安定的な作業を確保する。

2 法人の運営

(1) 法人の健全、適正な運営

理事会は四半期、評議員会は5月・12月・3月に開催する。

3 障害者支援施設 北海道博愛舎

(1) 就労継続支援事業

①個別支援計画に基づく適切な生産活動の機会の提供及び生活支援の実施

- ・生産活動能力の把握と効果的な活用の検討
- ・支援計画に基づく適切な作業部署への配置
- ・計画的な休日の確保
- ・生活支援の実施及び外出等個別支援の実施

②売上の目標額確保、利用者工賃の確保及び増額

- ・売上目標額 年額 28,000万円（平成30年度売上実績31,856万円）
- ・平均工賃4.5万円以上を目指し、利用者工賃の確保に引き続き努める。
- ・適正な工賃支給であるか、支給基準に基づき評価を実施するとともに、就労意欲向上のために評価内容を利用者に説明する。
- ・新規取引先の開拓
- ・契約単価の適正化
- ・製品の高品質の確保
- ・経費の節約

③作業環境の改善、作業時の事故防止、交通事故の防止

- ・カレンダーロール（シートローラー）を更新し、作業効率及び環境の改善を図る
- ・作業現場の見回り、危険箇所の修繕
- ・年間を通じた快適な職場環境づくり
- ・整理整頓の徹底
- ・機械、機器の作業前点検
- ・事故予防意識の定着
- ・公用車の定期点検

④地域支援の活動

- ・地域で潜在している在宅障がい者の支援の実施・協力
- ・通所利用者の送迎支援

(2) 施設入所支援事業

①個別支援計画に基づく利用者ごとの適切な支援

- ・個別支援会議の実施
- ・利用者個々の身体状況、希望等の確認
- ・宿直、日直職員の支援技術の向上研修

②余暇活動の支援

＜基本姿勢＞ 普段外出の機会が少ない利用者はもちろん、自分で外出が可能であっても行先が限られている利用者のためにも、出きるだけ多くの利用者に外出の機会を提供する。

【期間】：例年同様 7月～11月に実施する。

【内容】：全員にアンケートをとり、一人でも多く外出する機会を提供できるよう内容を検討する。

4 障害者支援施設 ニュー北海道博愛舎

(1) 生活介護事業

①個別支援計画に基づく入浴、排せつなどの利用者ごとに必要な支援

- ・入浴時の支援
- ・排せつ時の支援
- ・食事時の支援
- ・介護用品の整備

②個別支援計画に基づく適切な生産活動や創作活動の提供

- ・売上目標 年額 1,000万円（平成30年度売上実績 1,000万円）
- ・タオルたたみ作業等の生産活動の適切な配置及び土曜日の休日化
- ・工賃の支払
- ・作業場の環境整備及び作業の効率化
- ・生産活動に限定しない身体機能の維持等の日中活動の支援
- ・外出等個別支援の実施

③日中活動中の事故防止

- ・声かけの徹底、危険箇所の改善

④地域支援の活動

- ・地域で潜在している在宅障がい者の支援の実施・協力
- ・通所利用者の送迎支援

(2) 施設入所支援事業

①個別支援計画に基づく利用者ごとの適切な支援

- ・個別支援会議の実施
- ・利用者個々の身体状況、希望等の確認
- ・居室の環境整備
- ・夜間、休日勤務専門職員の支援技術の向上研修

②余暇活動の支援

＜基本姿勢＞ 出きるだけ多くの利用者に外出の機会を提供することが目的であり利用者個々の年齢・障がい・ニーズに配慮し柔軟に対応する。

【期間】：例年同様 5月中旬～9月上旬に実施するが、紅葉観賞のニーズがあれば10月中旬にドライブ形式で実施する。

【内容】：食事・買物・ドライブが中心となるが、個々のニーズに配慮し柔軟に対応し、出きるだけ個別支援に近い形で実施する。

※外出支援は、天候に左右されることが多いため、日程については週間天気予報を確認した上で随時決定していく。

5 障がい福祉サービス グループホーム紅愛

- (1) 個別支援計画に基づく快適な生活の確保
 - ・食事の提供
 - ・清掃、洗濯等の支援
- (2) 個人生活の確立に対する支援
 - ・町内会、地域活動への参加の支援
 - ・地域での食事会、施設利用の支援
- (3) 関係機関等との連携
 - ・利用者勤務企業との情報交換
 - ・他施設、一般企業、町内会との連携

6 障害者支援施設及び障がい福祉サービス共通事項

- (1) 健康管理・栄養管理の徹底
 - ①定期健康診断の実施
 - ②予防ワクチンの接種
 - ③日常の健康チェック、感染症及び生活習慣病の予防
 - ④内服薬、飲料水、嗜好品等の管理
 - ⑤通院の支援
 - ⑥嗜好調査の実施
 - ⑦障がい特性に応じた食事の提供（キザミ食等）
- (2) 感染症や食中毒の発生防止
 - ①マスク、手洗い等の徹底
 - ②施設内清掃の徹底
 - ③食品の管理
 - ④調理従事者の定期健診
 - ⑤職員研修（感染予防研修（内外））の実施
 - ⑥感染予防に必要な用品の確保
- (3) 災害等の災害防止
 - ①消防設備点検の徹底
 - ②電気設備の管理
 - ③災害、地震等に対応する避難訓練の実施
 - ④非常災害発生時対応の備品、食品等の備蓄
 - ⑤スマートフォン等に関する防犯対策
- (4) 利用者の確保
 - ①市町村、全道の地域相談支援センター及び特別支援学校等の関係機関との連携
 - ②ホームページ、広報誌等による施設のPR
- (5) 快適な日常生活の提供
 - ①居室等の整理整頓指導及び支援
 - ②洗濯等の指導及び支援
 - ③身体機能の維持に必要な指導及び支援
 - ④買物代行、金融機関取扱いの代行
 - ⑤事故防止策の徹底
 - ⑥食事、買物等のレクリエーションの実施
 - ⑦誕生会、昼食会等の行事食の実施
 - ⑧新年会、忘年会の実施

(6) 職員の資質向上の取組み

- ①施設見学の実施
- ②施設内研修の実施
- ③新任職員に対する研修（雇い入れ時研修を含む）

7 年間行事計画

(1) 利用者

年 月	共 通	北海道 博愛舎	ニュー北海 道博愛舎	グループホーム 紅愛
2 4月	夜間想定避難訓練			夜間想定避難訓練
5月			外出支援	
6月	火災避難訓練	外出支援	外出支援	火災避難訓練
7月	全道障害者スポーツ大会 (函館市)	外出支援	外出支援	食事会
8月	火災避難訓練	外出支援	外出支援	
9月	ジングスカンパティー 定期健康診断 利用者研修旅行 (60周年記念事業) 地震災害避難訓練	外出支援 野球観戦	外出支援	定期健康診断 利用者研修旅行 地震災害避難訓練
10月	全国障害者スポーツ大会 鹿児島県：三上参加 健康診断 災害対応避難訓練 (停電)	外出支援		観楓会 健康診断 災害対応避難訓練 (停電)
11月	予防接種 火災避難訓練			予防接種 火災避難訓練
12月	自治会忘年会			
3 1月	自治会新年会			新年会
2月				
3月	ラーメンの会			

(2) 職 員

年 月	職 場 内 研 修	外 部 研 修
2 4月		
5月		安全運転管理者講習会
6月	障害者の虐待防止研修	社会就労センター職員研修
7月		危険物取扱者保安講習
8月	理学療法の基礎研修	ディベート等研修
9月		授産施設連絡協議会、施設長・職員研修会
10月	感染症予防研修	身体障害者福祉施設職員研修
11月		クリーニング師研修

その他、職員の各分野に適した専門研修等に積極的に参加する。

8 売上目標金額

(1) 北海道博愛舎

(単位：千円)

	ホームクリーニング部門			ランドリー部門			合 計
	取 次			元 請	下 請		
	夕 張	札 幌	苫小牧	ホテル・ 病院・施設	タオル	白 衣	
4月	1,500	800	1,000	16,000	2,000	3,400	24,700
5月	1,400	700	900	17,000	1,600	3,400	25,000
6月	1,100	600	900	18,000	1,700	3,400	25,700
7月	900	400	600	18,000	1,800	3,800	25,500
8月	900	400	700	16,000	2,000	3,600	23,600
9月	1,100	400	700	16,000	1,600	3,300	23,100
10月	1,000	400	700	16,000	1,800	3,600	23,500
11月	1,000	400	800	16,000	1,700	3,500	23,400
12月	1,000	400	700	15,000	1,800	3,600	22,500
1月	700	400	500	15,000	1,600	2,800	21,000
2月	700	400	500	15,000	1,600	2,800	21,000
3月	700	400	500	15,000	1,600	2,800	21,000
合計	12,000	5,700	8,500	193,000	20,800	40,000	280,000
部門別 構成比	26,200			193,000	60,800		280,000
	9.4%			68.9%	21.7%		100%
	(昨年 8.4%)			(62.2%)	(昨年 29.4%)		

(2) ニュー北海道博愛舎

(単位：千円)

	オムツ	タオル	合 計
4月	600	300	900
5月	600	300	900
6月	600	300	900
7月	600	300	900
8月	500	300	800
9月	500	300	800
10月	500	300	800
11月	500	300	800
12月	500	300	800
1月	500	300	800
2月	500	300	800
3月	500	300	800
合 計	6,400	3,600	10,000
部門別構成比	64.0%	36.0%	100%